

## 7 選考基準

(1) 高等学校教員選考、障がいのある人を対象とした教員選考、スポーツの技能や実績のある人を対象とした教員選考

### ① 一次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定	
筆記試験	教職教養（教職に関すること）	—	20点	筆記試験及び実技試験の結果を基に、小論文及び書類審査の結果を加味して、総合的に判定する。  5段階 (G, F1, F2, F3, F4) G: 合格 F: 不合格	
	専門教科(大学卒業程度の各教科における専門的知識・知能)	—	120点		
	実技	保健体育(陸上競技・球技・器械運動)	実技指導に必要十分な技能の理解・修得状況		(60点)
		音楽(弾き歌い・即興伴奏・新曲視唱)	音楽性、構成力、表現力		(60点)
		美術(鉛筆によるデッサン)	構図、描写力、表現力		(60点)
	書道(漢字仮名交じり・漢字・仮名の書の表現)	表現の技能、表現の工夫	(60点)		
小論文 (与えられた課題について、600字以内で論述)		題意把握の的確さ(テーマ設定、根拠の妥当性等)、文章構成の工夫(テーマに沿った適切な構成等)、論理的思考力(論旨の展開等)、表記(誤字・脱字、字数制限等)	20点		
書類審査 (履修内容及び成績、免許、特技等)		選考の参考にする。			

### ② 二次選考

選考内容		評価の観点、配点・段階等		総合判定
個人面接 ○高校生活の印象・大学卒業論文の概要など、事前に提出する「個人面接カード」の内容に関する質問	模擬授業等 ○与えられた課題について、目の前に生徒がいることを想定した模擬指導(英語の志願者は英語で行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲(教育への情熱・使命感・目的意識)</li> <li>・人間性(広い視野、確かな人権意識)</li> <li>・協調性・創造性(コミュニケーション力、協働して行動する力、柔軟な思考力、向上心)</li> <li>・社会性(真摯な対応、幅広い教養)</li> <li>・専門性(広い教養、教科の専門的知識・技術)</li> </ul>	300点	個人面接の結果を基に、一次選考資料等を参考にしながら総合的に判定する。  5段階 (G, H, F1, F2, F3) G: 合格 H: 補欠合格 F: 不合格
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすさ、的確さ、教師としての姿勢</li> <li>・生徒の探究的な学びを支援する力</li> </ul>		
適性検査・書類審査		選考の参考にする。		